

江夏商事HDが第三者割当増資を実施

伊藤忠商事、宮銀の持株比率各5%に

江夏商事ホールディングス(株)(本社宮崎市、岩崎和也社長)は7月16日、伊藤忠商事(株)(本社東京、石井敬太社長)と(株)宮崎銀行(本社宮崎市、杉田浩二頭取)を引受先とする第三者割当増資を15日に実施、両社の出資が完了したと発表した。第三者割当増資の結果、両社による持株比率はそれぞれ5%となった。

同社グループは明治33年(1900年)の創業以来、安心・安全な鶏肉を消費者に届けるため、生産から加工・販売までを一貫体制で手掛けてきた。近年では直営農場の追加展開、提携企業との取り組み、集鳥運搬における日本初のシステム導入など積極的な投資を行い、年間取扱羽数は2000万羽規模となった。今年度から新たに掲げた中期経営計画「Challenge 2024」でも、自ら変化し挑戦を続ける企業として、①ブローラー事業の成長加速②積極的なM&Aの取り組み③新規事業創出に注力。国内ブローラー産業の発展とともに、自社グループも

成長を続ける考えを明らかにしている。7月1日には(株)センターフーズ、丸園冷蔵(株)から食肉製品製造・加工事業を譲り受けることで合意。いちき申木野市西薩町にセンターフーズ(株)を江夏商事ホールディングス100%出資子会社として設立し、同日営業を開始している。

同社は、今回の第三者割当増資について「Challenge 2024」の推進を加速するための資金調達並びに新たな株主による販路拡大、M&Aを含む取り組み推進のサポートが目的。さらには当社も賛同しているSDGsへの取り組みにおいても新たな株主の知見や協力を得て、サステナブルな社会の実現に貢献していく」としている。

伊藤忠商事は「当社グループは江夏商事HDグループとは長年取引関係にある。今回の出資は、江夏商事HDが推進する中期経営計画「Challenge 2024」における販路拡大、M&Aを含む取り組み推進のサポートを株主として一層強

化することを目的としている。さらには江夏商事HDが掲げる「サステナブルな社会の実現への貢献」は、当社の基本方針である「SDGsへ

「国際微量ミネラル栄養学シンポジウム」

ジンプロが9月からオンラインで無料開催

ジンプロアニマルニュートリションジャパン(本社横浜市)は9月1日〜10月31日、「2021年国際微量ミネラル栄養学シンポジウム(International Trace Mineral Nutrition Symposium 2021: ITMNS2021)」を「ジェネレーション」を「ニュートリション」の子の健康と生産性に好影響を与える母体への栄養供給の重要性」をテーマにオンラインで開催する。参加費無料。

ジンプロジャパンは2018年に豚、2019年に反芻動物における

の貢献・取組強化」とも合致するものであり、江夏商事HDと共に取り組む」とコメントしている。

微量ミネラル栄養学の最新知見に焦点を当てた、「国際微量ミネラル栄養学シンポジウム(ITMNS)」を開催してきた。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり開催を中止したが、今年は初めてオンラインで開催することとなった。

今年には畜種を限定せず開催する。本シンポジウムでは、微量ミネラル栄養学についての知見および経験の豊富な国内外の研究者が最新の研究内容や試験結果を紹介する。

参加方法は、URL (<https://www.ITMNS2021.zinpro.jp>) もしくはQRコードからイベントページにアクセス。申し込み後、登録されたメールアドレスにパスワードが送付されるので、そのパスワードとメールアドレスでログインする。

各講演タイトルと講師は以下の通り。

